

一斉学習 同時進行型

実践タイトル 電子黒板とチャンツを使ったノリノリ英語

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

・スクリーン上に教科書や動画教材を大きく表示して、わかりやすく説明する。電子黒板上に、さまざまな仕掛けを用意して、生徒の関心意欲を高める。

その他
音声(チャンツ)教材

・授業の導入で使って生徒の発声を促す。
・英語のリズムとイントネーションを身に付けさせる。

参考にしてほしいポイント

・電子黒板を使うことで、教科書、板書、動画、音など、さまざまなメディアを同時に使いながら授業ができる。大きく表示することで、課題を明確につかみ、内容をわかりやすく説明でき、生徒の理解を深めることができる。また、チャンツを口ずさむことで、英語の音感を身につけ、音やリズム、イントネーションがわかる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入	0	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板、PC 音声(チャンツ)教材(写真1)、インターネット(アイオワ大学英語学習サイト)
	10	
展開	10	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板(写真2)
	40	
まとめ	40	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板(写真3)
	50	

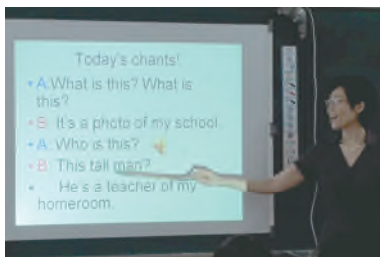


写真1: 電子黒板を使ってチャンツの練習



写真2: 電子黒板に文字と写真を表示

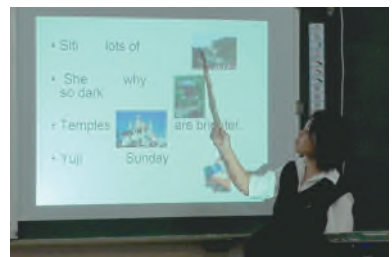


写真3: 生徒によるサマリー発表

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・英語を話すというより、歌っているところが楽しい。
- ・リズムカルで無理なく英語を口ずさむことができる。
- ・黒板にチョークだけの授業よりおもしろい。

活用効果

評価の観点	・コミュニケーションへの関心・意欲・態度	具体的容容	・音声教材を提供している大学のサイトを画面上に見せたり音声を聴かせたりすることで、生徒の関心意欲を高め、生徒が黒板の方を見たまま集中して学習ができていた。
-------	----------------------	-------	---

実践の手応え

- ・パソコンに触れることなく、電子黒板上ですべての作業ができ音も提示できるので、スムーズに授業を進めることができた。生徒は積極的に参加し、授業に集中していた。同じ時間で、より多くの教材をこなせた。
- ・初めての生徒でも、簡単に電子黒板上の写真や図を活用しながら、サマリーを発表できた。